

■横浜国際プール サウンディング調査 質問への回答

令和4年10月4日

番号	質問	回答
1	メインアリーナの床転換の有無について、令和3年度外部監査の結果や今後の大会利用需要、近隣施設状況等を踏まえた、現段階の方針についての市の考え	<p>今年度策定した「横浜市財政ビジョン」では、今後の公共施設運営・改修にあたって、市民ニーズはもとより、将来の人口・財政規模を見据え、ライフスタイルの変化やデジタル化・脱炭素化等の社会的ニーズをふまえた適正化を進めていくことにしています。</p> <p>床転換の有無も含めた横浜国際プールの利活用については、この財政ビジョンをふまえつつ、本サウンディング調査において様々なご意見をうかがい、検討していきたいと考えています。</p>
2	現業務における市内事業者の活用率及び活用部分	市内中小企業の実績（別紙のとおり）
3	各施設、各諸室の稼働率	<p>【令和3年度実績】</p> <p>メインプール：大会以外は個人利用（利用者数は事業報告書参照） スポーツフロア：85% サブプール：大会以外は個人利用（利用者数は事業報告書参照） サブアリーナ：92% 多目的コート：84% 多目的ホール：84% 会議室1：81% 会議室2：77% 会議室3：80%</p>
4	客席の構造が国際大会実施要件に合致していないという記載がありますが、計測器、基本席数含め、どの要件にどれほど満たしていないのか詳細	<p>計測機器については、FINAの現在のタイミングパートナーと横浜国際プールに設置されている機器のメーカーが異なっている点がありますが、主催者が持ち込むなどの対応が可能です。</p> <p>実際に国際大会を開催する場合は、客席も含め、大会ごとの開催要件を満たすよう個別の調整が必要となります。</p>
5	本建物内にある全てのプールがFINA主催の国際大会で使用できないという認識でよいか。	メインプールは公称50m国際基準競泳プール、ダイビングプールは国際基準飛込プール、サブプールは公称50m国内基準競泳プールおよび公称25m国内基準競泳プールです。

■質問回答 別紙 指定管理者における市内中小企業への発注状況（令和3年度）

※指定管理者が令和3年度中に発注をした案件のうち1件100万円以上（税込）の契約（工事・物品・委託）の発注実績

区分	全体契約実績									
	市内企業契約実績									
	市内中小企業契約実績									
	件数 (A)	構成比率 (A/E)	金額 (B) 百万円	構成比率 (B/F)	件数 (C)	構成比率 (C/E)	金額 (D) 百万円	構成比率 (D/F)	件数 (E)	金額 (F)
工事	6	40.0%	8	25.0%	6	40.0%	8	25.0%	15	32
物品	1	50.0%	1	20.0%	1	50.0%	1	20.0%	2	5
委託	3	42.9%	13	12.3%	4	57.1%	17	16.0%	7	106